

機密性2情報

「令和8年度北九州港湾業務艇建造工事」

仕様番号	質問	回答	結論
第3章 船殻艀装部			
3-3 防舷装置	(1)防舷材について 『発泡ポリプロピレン製の吊防舷材』と記載がございますが、材質は発泡ポリプロピレン限定でしょうか？ 発泡ポリエチレン製の吊防舷材あるいはPVC(ポリ塩化ビニル)製のエアフェンダーなど、ほかの材質の吊り下げタイプの防舷材は駄目でしょうか。	特記仕様書のとおりとします。 もし、相応の理由がございましたら、受注後協議下さい。	
3-6 交通装置	(1)梯子について 『昇降用折りたたみ式ステップを客室側面に設ける』と記載が御座いますが、添付資料1のような器具をご想定でしょうか。 客室側面には窓があり、設置は困難であり、折りたたみ式ステップだけでは昇降が困難ですので、添付資料2のような感じでしょうか。 また、折りたたみ式ステップの材質はステンレス製がほとんどですので、電食防止策としては『アルミ側壁面を塗装』として、塗装後に折りたたみ式ステップをボルト&ナットで設置して問題ないでしょうか？	ご認識のとおりです。 なお、折りたたみ式ステップの取付のみとしており、固定式垂直梯子については想定しておりません。	
3-15 諸室	(5)機関室、(7)タンク室の、壁と天井の使用材料に『耐食アルミニウム合金製多孔板張り』と記載が御座いますが、この場合、重量過多となり船速にも悪影響となりますので『アルミガラスクロス』に変更したいのですが如何でしょうか？ 他局の港湾業務艇ではありますが実績が御座います。	特記仕様書のとおりとします。	
3-17 塗装	船体内面(内張部)の塗料に『エポキシ系防食塗料(アルミ用)』と記載が御座いますが、制振材を使用する箇所になるため、『無塗装』に変更して頂けないでしょうか。 制振材のメーカーより、塗装面に張り付けた場合、剥がれやすくなるため制振できなくなるとの注意があり、無塗装とする必要があります。 また、配管についてですが、室内設置の配管につきましてはステンレス管、アルミ管を使用しており、錆・腐食の心配がないことから通常、塗装は行いませんし、塗装を行った実績もございません。 『無塗装』に変更して頂けないでしょうか。 配管(室外)につきましては、塗装施工で問題御座いません。	特記仕様書のとおりとします。 もし、相応の理由がございましたら、受注後協議下さい。	
第5章 電気部			
5-2 発電機及び電源装置	(4)蓄電装置について 数量に『24V×200AH 2群』と記載されていますが問題はないでしょうか。 他局の港湾業務艇では、主機関2基、発電機1基にそれぞれ1群ずつ計3群の蓄電池を始動用に接続し、それぞれの機関のオルタネータより充電するようにしております。 計3基の機関に対し、2群の蓄電池の蓄電池はどのように接続をご検討されていますか。	1群の蓄電池で主機関1機をまかない、もう1群の蓄電池で主機関1機及び補機関1機をまかなうことを想定しております。	

仕様番号	質問	回答	結論
5-7 航海計器	(7)音響測深機(シングルビーム)について 国内メーカーで、船底固定の送受波器に『水温センサー』が搭載された音響測深機を見つける事ができませんでした。 候補の機種がございましたら教えていただけないでしょうか。 魚群探知機であれば、国内製で『水温センサー』付きの機種がございましたが、そちらでしょうか。	水温センサーは送受波器組み込みではなく、別途付加し表示させるものを想定しております。	
契約後の保険	契約後には船舶建造保険、北九州港への回航前には回航時の保険を契約の予定ですが、履行保証保険の契約は必要でしょうか。 また、そのほかに必要な保険契約が御座いましたら、ご教示頂けないでしょうか。	履行保証保険の契約は必要ございません。また、そのほかに必要な保険契約等もございません。	
	『競争参加資格調書』の中で 様式ー6 保守サービス体制調書 に関する質問となります。 ①『部門』欄が連絡窓口・船体部・機関部・電気部と分かれています が弊社の規模が小さいため、部門を分けた対応をしておりません。 すべてを同一人物にて対応を考えておりますが 4箇所共、同じ氏名を記入して問題は無いでしょうか。	各部門の対応できる方であれば問題ございません。	
	②1. 記載要領にて 『連絡後24時間以内に引渡し場所で現況調査等の迅速な対応がとれる体制』 と記載がございますが 弊社より北九州港まで何う場合、どうしても24時間では到着する事が出来ません。 北九州港に近い、外注業者に弊社より依頼して 24時間以内に到着するような体制を作り 『納入場所までの交通経路』に外注業者名を記載してもよろしいでしょうか。	対応可能であれば問題ございません。	